

# 目に見える復興で被災者に安心感を 市民主体のまちづくりをサポート

## はじめに

東日本大震災から5年目を迎えました。これまでの間、全国各都市をはじめ、多くの皆さまから多大なるご支援ご協力を賜りましたこと、この誌面をお借りしまして

厚く御礼申し上げます。

復興の大きな柱である防災集団移転促進事業では、移転先となる市東部の玉浦西地区で、被災された皆さまが新しい生活をスタートさせておりますが、いまだに元の生活に戻れない方々もおります。市では、最後まで被災者に寄り添っていくと同時に、新しいまちにおける生きがいづくり、健康づくりなどの取り組みをサポートしていくこととしております。

改めまして、ご支援を賜りましたことに心から感謝申し上げます。

## 交通の要衝「岩沼市」

岩沼市は、宮城県の中央部、仙台市の南17・6kmに位置し、市域は、東西で約13km、南北で約10km、総面積60・45kmを有する人口約4万4000人の都市で、西部の

山岳地域から東部の太平洋岸に至るまでなだらかに広がった平野が展開し、南部の市境には阿武隈川が東流しています。

また、東北本線と常磐線の分岐点、国道4号・6号の合流点であり、さらに、東北地方の空の玄関口、仙台空港が所在するなど交通の要衝です。その後、輸送交通の利便性の高さから大小の企業が進出し、工業都市の性格も加わり、商業都市として発展してきました。

本市では、将来都市像を「**い**がふれる、**健**幸、**先**進都市 **い**わぬま」と定めた「いわぬま未来構想」を平成25年度に策定し、東日本大震災からの復旧・復興をスピード感とコスト意識を持って進めるとともに、自助・共助・公助と協働・連携のさらなる推進による市域全体の均衡ある発展を目指したまち

づくりを進めています。

本年3月には、常磐自動車道が全線開通し、平成28年3月には全国初となる仙台空港の民営化が控えています。今後、交流人口の増加が見込まれる中、安全・安心を柱に、住みやすさ、暮らしやすさをさらに高めていきたいと思えます。

## コミュニティ重視の まちづくりが「生きる希望へ」

本市では、特に被害の大きかった沿岸6集落を内陸部の1カ所に集約させています。6集落はもともと地域のつながりが強く、仮設住宅や集団移転先の画地決めなどにも、被災前のコミュニティを維持することに最後までこだわりました。地域の皆さんは「被災した玉浦地区を再生しよう」という思いが強く、この地域を守り、新しいまちとして再生させることが本市の復興の大きな柱となっています。

防災集団移転促進事業は、平成24年8月に造成工事に着手し、平成26年4月に宅地の全戸引渡ししが



西方上空から遠望した玉浦西地区

完了しています。本年の初夏に向けて、大型商業施設の完成が目指されており、新しいまちでは、住民主体の植樹や公園の緑化などの取り組みが進められています。

## 復興の象徴「千年希望の丘」

三陸のリアス海岸のまちと仙台平野の平場のまちでは、防災の考え方も変わります。本市では多重防御を選択し、防御の最前線は国土交通省の海岸堤防、次は築山型の防災機能を持たせた「千年希望の丘」、そして県管理の貞山堀の土手と市のかさ上げ道路で守ります。

この多重防御のひとつ「千年希望の丘」は、東日本大震災の記憶



復興の象徴「千年希望の丘」

を未来へ引き継ぎ、数々の教訓を生かしつつ、持続可能な岩沼市の復興の象徴として整備を進めています。15基の小高い丘を配し、津波の威力を弱め、いざという時には命を守る避難場所、防災教育の場として、また、土台部分には再生可能な災害廃棄物を用いることで悲劇を決して風化させず、鎮魂とともに未来永劫に持続可能な岩沼の象徴とするもので、これまで法令や制度、財源などの問題がありました。思いが形となってきました。

現在、千年希望の丘全体構想のうち、「相野釜公園」「二野倉公園」が完成しています。造成土の約7割は震災廃棄物から再生した資材を活用し、民間団体の支援による植樹も行っています。残る丘の完成に向け、引き続き取り組んでいきたいと思っています。

## 復興から地方創生へ

国では、地方創生（まち・ひと・しごと創生法）として、東京圏の一極集中に歯止めを掛け、若い世代の就労・結婚・子育ての希望を実現し、地域の特性に即して課題を解決するという基本視点で、この

課題に正面から取り組むこととしています。残る復旧・復興事業を着実に進めるとともに、この震災でコミュニティの大切さを実感した経験を踏まえ、市民との対話を重ねながら、まちづくりを進めています。単なる復旧にとどまらない魅力あるまちとするためには、市民一人ひとりが主役となつて、新たな魅力と活力ある地域をつくりあげることこそが、持続可能な

## プロフィール

- ◆ 面積 60・45km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 4万4114人
- ◆ 世帯数 1万7057世帯

〔将来都市像〕人があふれる「健幸」先進都市いわぬま

〔まちの特徴〕仙台空港が所在し、国道およびJRの合流点である交通の要衝で、「宿場町」「門前町」「城下町」として栄えた歴史あるまち

〔特産品〕奈良漬、米、メロン、岩沼白菜、きゅうり、りんご、岩沼とんちゃん



岩沼市長  
菊地啓夫



〔観光〕竹駒神社、金蛇水神社、二本の松（武隈の松）、貞山堀、グリーンピア岩沼、ハナトピア岩沼、千年希望の丘

〔イベント〕竹駒神社初午大祭、金蛇水神社花まつり、千年希望の丘植樹祭、夕暮れクラシックコンサート、ハナトピア岩沼秋の収穫祭、いわぬまエアポートマラソン

まちづくりに必要な取り組みではないかと思っています。

地域の方々と力を合わせ、復興のさらなる推進と、地域全体の発展に向けて全力で取り組んでまいります。

※「人」とは、次の4つの想いを表しています。  
あい・愛…家族や地域、ふるさとへの愛に満ちている。  
一（英語の私）と岩沼の頭文字…個人（私）とまち（岩沼）が融和している。  
人…一人ひとりの市民が主役になっている。  
人と太陽…明るい未来を目指して歩んでいる。

※ 面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

# わが

## 輝く自然・あふれるやさしさ・ 活力みなぎるまち しもつま

### はじめに

下妻市は、茨城県南西部、東京から約60km圏に位置し、北は筑西市、南は常総市、東はつくば市、西は（結城郡）八千代町に接し、緑と水に恵まれた田園都市で、正方形に近い矩形くわいけいをしています。その大半は、比較的肥沃ひよくな土地で形



砂沼遊歩道と桜の風景

成され、中央に砂沼、東に小貝川、西に鬼怒川と水資源も豊かで、夏の平均気温は24℃、冬の平均気温は4℃、降水量は夏平均175mm内外、冬平均40mm内外、海から50km以上離れているため、やや内陸型の温暖な気候で、とても住みやすいまちです。

本市は、古くから茨城県西地区の中心都市として、地域経済と文化のバランスある都市として発展を続けてきました。現在は、農・工・商のバランスある産業構造の構築と暮らしやすい住・教育環境を目指し、確かな視点と行動で着実に成果を上げている活気あふれるまちです。そして、平成25年度にスタートした「第5次下妻市総合計画・後期基本計画」の基本理念と将来像「輝く自然・あふれるやさしさ・活力みなぎるまちしも

つま」人がいきいきかがやくまち」の実現に向け、各種施策を展開しています。

### 市街地再生から動き出す にぎわいのあるまちづくり

空洞化が見受けられる中心市街地においては、地域の活性化および市街地再生によるにぎわいのまちづくりを目指して、本市のシンボル「砂沼」と関東鉄道常総線「下妻駅」周辺の市街地を含む区域を「砂沼周辺地区」として、見える「砂沼」の演出とともに、にぎわいを創り出すための拠点整備などを含む「都市再生整備計画事業（面積…約130ha、総事業費…約17億1000万円、事業期間…平成24年度～平成28年度）」に取り組んでいます。

本事業を推進するに当たり、市

民、商店会、市内通学の高校生に対するアンケートを実施したほか、商工会やまちづくり関係団体へのインタビューを行い、市民の皆さまの意見や要望などが事業に反映できるよう心掛けています。

これらを踏まえ、砂沼周辺地区の活性化事業では、交流人口を増やし、まちなかを市民や来訪者が行き交うことのできるにぎわいを取り戻せるよう、新たな拠点の整備や道路整備などのハード事業と、空き店舗対策などのソフト事業を一体的に進めています。

また、地域住民と行政が共に知恵を出し合うワークショップ形式により、計画をより具体化する手法を取り入れ、「下妻市協働のまちづくり市民会議」においてもさまざまな意見やアイデアが出されていますが、中心市街地のにぎわいを取り戻すには、今後も市民の皆さまや商店会などの関係団体と行政が、一体となって盛り上げていくことが最も重要と考えています。

## 個性ある市のイメージを発信

市民の郷土を愛する意識の向上を図るとともに、美しい自然や地域固有の歴史・文化、人材などの対外的なアピールをすること、個性と魅力ある市のイメージの形成を図っています。

市内を流れる小貝川河川敷に国蝶オオムラサキの生息地を有することから、オオムラサキをモデルとした「シモンちゃん」を本市のイメージキャラクターとして活用し、平成25年度からは「シモンちゃん」ポロシャツ・ジャンパールの販売を始めたほか、本年8月からは「シモンちゃん」のご当地ナンバープレートの交付を計画しています。

また、本市にゆかりのある著名人を観光大使に任命し、PRやイメージアップ効果も図っています。平成26年6月の「市制施行60周年記念式典」では、下妻の名を全国に広めた平成16年公開の映画「下妻物語」に出演された女優の土屋アンナさんを任命し、本市の認知度向上に貢献いただきました。

そのほか、下妻発のご当地アイドルグループ「しもんchru」の支援や、市特産品や加工品を市内外のイベントなどで販売するなど、さまざまな手法で本市のプロモーションを展開する取り組みを行っています。

また、本年10月には茨城県主催による「茨城を食べよう 収穫祭2015」が、砂沼広域公園を会場に2日間の予定で開催され10万人超の来客も見込まれるため、本市としても絶好のPR・情報発信の機会と考え、茨城県と連携・協力を図りイベントを成功させたいと考えています。

## おわりに

私が、市政を担当させていただいてから5年が経過いたしました。この間、まちなかの整備、子育て・教育環境の充実など、若者の交流人口・定住人口の増加促進に向け各種施策を展開してまいりました。

また、積極的な企業誘致が実を結び、市内の工業団地ではこれまでに一部上場3社を含め4社が操業を開始し、さらに近々2社が操業を予定するなど、新たな活力も

生まれてきており、雇用や定住化など、若者たちが都市部に移り住まずとも生活できるまちづくりが着々と進んでいるところです。今後も引き続き、市民の皆さまがこのまちに誇りを持ち、「下妻市に住んで良かった、これからも住み続けたい」と思えるようなまちづくりを市民の皆さまとともに考え、本当の意味での「市民が創り上げていく郷土下妻」を目指してまいります。

## プロフィール

- ◆ 面積 80・88 km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 4万3319人
- ◆ 世帯数 1万5250世帯

〔将来都市像〕輝く自然・あふれるやさしさ・活みなぎるまち しもつま〜人がいきいきかがやくまち〜

〔まちの特徴〕平将門が本拠を置き、親鸞聖人も住んだといわれる緑と水に恵まれた田園都市



下妻市長  
稲葉本治



〔市町村合併〕平成18年1月1日、千代川村と合併

〔特産品〕豚、梨、米、千石ぎゅうり

〔観光〕砂沼広域公園、小貝川ふれあい公園、大宝八幡宮、筑波サーキット

〔イベント〕しもつま砂沼フェスティバル、下妻まつり（千人おどり、花火大会）、小貝川フラワーフェスティバル、花とふれあいまつり、鬼怒川流域交流Eポート大会、砂沼マラソン大会



市長と市民が意見を交わす「市長との対話集会」

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

# わが

## 自然や歴史・文化、産業に恵まれた 豊かなまち、高砂

### ふるさと高砂につたわる 豊かな歴史文化

「高砂や この浦舟に帆をあげて…」で知られる謡曲「高砂」の発祥の地である高砂市は、兵庫県の中南部に位置し、古代から現代まで採石され続ける「竜山石」の文



「浮石」とも呼ばれる日本三奇の1つ「石の宝殿」

化、近世舟運により人とモノの交流拠点であった「みなとのまち」「白砂青松」の景観が広がっていた海岸部での「塩づくり」、これら多様な歴史文化が一体となり、地域固有の魅力が形成されてきました。

近世では、播磨臨海工業地帯の中核都市としても目覚ましい発展を遂げるとともに、平成26年には石の宝殿と竜山石採石遺跡が併せて国の史跡に指定され、伝統文化と自然と産業が見事に調和したま

ちとなっております。

### 50年に1度の大雨から学ぶ

暮らしを支える衣・食・住・遊・知・休の各分野で豊かさを実感でき、住んでいることに誇りを持っているまちづくりのためには、都市経営の視点の下、市民ニーズを的確

にとらえることが重要です。福祉・保健・医療・教育の充実を基盤とし

つつ、交通の利便性の向上、産業の活動促進、環境負荷の低減に努め、人が文化をつくり、文化が人をつくる賑わいとうるおいのあるまちづくりをする必要があります。

高砂市の最重要施策として、「住」にあたる浸水対策事業があります。平成23年、台風第12号により、本市は50年に1度といわれるほどの記録的大雨となり、床上浸水は600件を超え、床下浸水にいたっては3000件を超えました。

市民が営む「住」は地域の住みやすさを表します。今後、このような大雨に見舞われても浸水の心配のない安全安心なまちづくりのため、総合治水施策を最優先に掲げて事業を進めてきました。また、

平成26年度からは河川、下水道雨水管渠、用排水路、ため池などを総合して取り組む組織として治水対策室を置き、なお一層の事業推進に力を入れているところです。

### 灯りの2大イベント

「1年に1度、星が降りてくるまち」「たかさご万灯祭」、「星の市庁舎」「たかさごルミナイト」は、本市の誇る灯りの2大イベントです。

「たかさご万灯祭」は、平成18年に本市高砂町が兵庫県の景観形成地区に指定されたことをきっかけに、その翌年から毎年開催されています。昔ながらの町並みが残る高砂町の路地約6kmにキャンドルが灯り、昭和レトロな建物や蔵などがライトアップされ、訪れた人々を幻想的な世界へと誘います。

また、各地で心地よい音色のジャズが響きわたり、灯りと音楽に包まれた秋の夜の高砂は、約10万人が訪れる兵庫県下でも有数の秋の一大イベントとして成長を遂げています。

「たかさごルミナイト」の始まりは平成24年と比較的新しいイベントですが、全国でも高砂市で見られない冬の灯りの祭典です。堅いイメージのある市庁舎に親しみを感じてもらうため、庁舎全体を約5万個のLEDと約700本のキャンドルで彩ります。その輝きはとも庁舎とは思えないほどに様変わりします。また、音楽演奏や庁舎の外壁を映像で演出するなど五感で楽しめる冬の風物詩の1つとなっています。

## 高砂市版地方創生・総合戦略に向けて

高砂市版地方創生の先行型事業として、平成27年度は、市の魅力や情報を映像化し市内外へ発信する事業、ふるさと高砂をPRするイベントやプロモーション、古代から採石されている竜山石など地域産品の普及・開発や販路開拓、その竜山石採石と併せて国の史跡指定を受けた「石の宝殿」をはじめとする日本三奇をPRする事業などを実施しています。

10月までに策定を目指す総合戦略においては、待機児童ゼロなど子育てのしやすさをアピールする

手法、教育環境の充実や若者の夢をかなえる仕組みづくり、大企業が立地している特性を生かした住宅施策などの将来にわたって元気なまちとなる施策づくりを進めていきます。

また、本市と姫路市は、連携して播磨圏域全体の経済成長をけん引し、住民が安心して豊かな暮らしを営むことができる連携中枢都市圏を形成するため、「連携中枢都市圏形成に係る連携協約」を4月5日に締結しました。今後、本市を含む播磨圏域の7市8町による連携中枢都市圏構想において、各市町が対等協力の立場で団結し、雇用の創出、定住の促進、地域の活力向上を図ることとしており、本市



冬の風物詩「星の市庁舎「たかさごルミナイト」

においても、この新たな広域連携を活用し、将来都市像である生活文化都市を拓いてまいります。

## 生活文化都市を目指して

高砂市第4次総合計画には、「郷土に学び 未来を拓く」生活文化都市 高砂」を未来像としています。市民一人ひとりが暮らしに豊かさを実感し、培ってきた高砂の絆がさらに深まり、生活を支える「環境・健康・文化」が高

## プロフィール

- ◆ 面積 34・40 km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 9万3600人
- ◆ 世帯数 3万9127世帯

〔将来都市像〕 郷土に学び 未来を拓く 生活文化都市 高砂

〔まちの特徴〕 古代より瀬戸内海屈指の港町として栄える。経済的・文化的に優れた都市伝統を有するまち

〔特産品〕 焼あなこ、にくてん、かし



高砂市長  
登 幸人



わもち、いかなごの釘煮、竜山石、松右衛門帆、高砂染  
〔観光〕高砂海浜公園、あらい浜風公園、市ノ池公園、高御位山、日笠山、石乃寶殿、観瀾処、申義堂  
〔イベント〕スプリングフェスタ鹿島川、高砂観月能、たかさご万灯祭、たかさごルミナイト、各神社秋祭り、高砂マラソン大会、高砂浜風伝競走大会

まることにより、誇りと魅力を共感し合えるまちづくりを目指しています。  
平成26年は、市制60周年を迎え、これまでを振り返り、魅力を再発見する年でありました。「生活文化都市」を実現すべく、さまざまな課題に丁寧に取り組みながら、市民・行政・企業が三位一体となって活力ある魅力的なまちの実現のため発展の帆を揚げて新たな船出をしています。

※ 面積は国土地理院「全国都道府市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

# わが

## 口腔ケア事業で 生涯現役社会づくりを目指す

### 過疎高齢社会最前線

豊前市は本年、市制施行60周年を迎えました。発足時からこれまで市政振興に尽くしていただいた多くの先人、先輩方のおかげと感謝しています。5月の記念式典にはハワイから州知事を3期務められたジョージ・アリオシ氏を迎え、「おかげさまで」をテーマに記念講演をしていただきました。お父上が20歳まで本市でお育ちになったルーツとしてのご縁です。現職の時以来、久しぶりに有吉家のお墓にも参られました。

本市は福岡県の東にあり、周防灘の最西端に面した瀬戸内の穏やかな気候の地です。自生地としては南限のツクシシヤクナゲ（国の天然記念物）が群生する犬ヶ岳と修験道の霊峰求菩提山群を源流に

する4本の2級河川が南北に細長く放射状に河口まで伸びた地形。河川の本流と支流が大小20近い谷を結び、四季折々多様な景観を生み出しています。人口は転出や自然減で市制施行

当時に比べ1万1000人ほど減少。高齢化率は32%超となり、過疎高齢社会最前線にあります。

2年前の市長就任時に、急速な高齢化の中で地域活力を支えていくにはどうしたらいいのか。地元資源を把握し、存分に生かしているのか。60年という人間でいえば還暦の年にちなみ、もう一度原点に返って見直したいと考えました。

進むばかりの人口減に対し、増やすという高い目標を掲げながら、歯止めと維持に取り組みざるを得ない現実。財政的にも自主財

源は先細り、国県頼みの実情の中で、「齢を重ねて何が悪い。悲観、卑下することなく平均年齢に限りなく近い健康寿命を目指し誇ろう」と「生涯現役社会づくり」を第1の政策に掲げました。

どこから取り組むか。考えましたが、日本歯科医師会・厚生労働省が平成元年から推進した「8020運動」の25年間の成果「健康な歯を多く有する者が心身ともに健康で長寿」を本市でも取り入れ、本年度から歯と咽喉の健康をテーマに口腔ケア（在宅歯科訪問）事業に具体的に乗り出します。

在宅の要介護1、2程度の高齢者を、九州歯科大学の教授をチーフにした専門家チームと地元の豊前築上歯科医師会などのプロが個別に年間10



本年度から実施している口腔ケア（在宅歯科訪問）事業

回ほど訪ね、診療したデータを、この事業のために立ち上げた専用プログラムに入力して個人を総合的に見守ります。

このプログラムの特徴は個人の歯科に関する情報だけでなく健康情報全般が入力でき、多くの市民の検診、治療の情報を一元化することによる健康の総合管理が可能になるようです。将来的にこの事業を継続して健康長寿地域実現を

目指します。

予算は国の支援で県が創設した基金からの補助と単費を充てます。地元の歯科医師会と2年間近く研究、協議を重ね、医師会とも随時連絡を取り、加えて北九州市にある九州歯科大学の全面的な協力を得ながら準備してきた全国でもまれな事業です。

## 循環型社会、 ロングステイのまちづくり

第2の政策として、処理費用が掛かるし尿やゴミのリサイクル、リユースを目指す「循環型社会づくり」。現状では、し尿を周辺町と一部事務組合で処理し、海へ排水していますが、「機械メーカーの言われるままの維持経費」が大きな負担です。し尿を液肥化して低価な肥料として田畑に還元すれば農家の経営安定につながります。経費節減したお金が地元に残り、地元で循環して地域の活力となることを狙っています。関係議会との調整を経て、3年後の実現を目標にしています。

このほか、石油火力発電所

が立地、稼働している電力供給の地として持続可能なバイオマス発電企業の誘致にも動き、進出予定の企業と最終調整を行っています。

第3の政策として、市面積の70%に近い森林を背景に全国で53番目の森林セラピー基地に認定された自然環境、周防灘(福岡県では豊前海)の幸を食で楽しみ、魚介類の生態や海の暮らしや営みを学べる総合施設(年内の完成を目指して建設中)、さらに薬草薬樹を用いた山伏の修験道や伝統的な里神楽などを生かし、毎年増加す



全国で53番目の「森林セラピー」基地に認定

る空き家対策を絡めた「ロングステイのまち」を目指しています。市内に600を超す空き家が存在し、治安や防災、景観上の大きな問題でしたが、本市では廃屋を撤去する費用の助成と、撤去してさうらに戻しても5年間は土地への固定資産が据え置かれる独自の条例を議会の提案もいただき制定しました。

## プロフィール

- ◆ 面積 111.17 km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 2万6740人
- ◆ 世帯数 1万1809世帯

〔将来都市像〕安心文化のまち豊前

〔まちの特徴〕天然記念物「ツクシヤクナゲ」が群生する犬ヶ岳があり、ここから流れる岩岳川を中心に扇状に開けた平野が周防灘に面する。また、修験道の遺跡を多く残す求菩提山や神楽など歴史と文化を受け継ぐまち

〔特産品〕ゆず、いちじく、豊前茶、豊前海一粒かき、豊前本ガニ、三毛門



豊前市長  
後藤元秀



かぼちゃ

〔観光〕天地山公園、求菩提キャンプ場、求菩提温泉「下仙の郷」、求菩提資料館、道の駅「豊前おこしかけ」

〔イベント〕しゃくなげ祭り、豊前みなと祭り、さかな祭、宝福寺山つつじ祭り、豊前市カラス天狗祭り、合河ゆず祭り

念願の東九州自動車道がほぼ開通して、約250万人の福岡都市圏との時間距離が1時間余りとなり、大分宮崎方面とも大幅に短縮されました。長期に、安価に、泊まれる空き家を市内各地に整備してIUターンや交流人口を一気に増やしたいと考えています。  
こんな豊前市にぜひ、お越しください。市を挙げて歓迎します。

※ 面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。